

ご家族からのお便り

ご入居者ご家族よりお礼のお手紙を頂きました。

ご入居者の長男〇様からお便りをいただきました。
お母様のご入居(2021年9月)を、
兄弟二人(姉と〇様)とそれぞれの配偶者が協力して
東急ウェリナケア旗の台に決定。
ご入居後も兄弟が交代で面会などに行っていましたが、
女同士ということもあり、
お母様は主にお姉様を頼りにされてました。
ところが2023年そのお姉様が急逝してしまったのです。

お手紙(一部割愛)

娘、しかも頼りにしきっていた娘に先立たれた母の受けた衝撃は極めて大きなものでした。食事などを通らなくなり絶食状態で、水分の摂取量も大きく減少しました。母は「私はこれからどうしたらよいの?」「長く生き過ぎたわ。娘の死に目に会うなんて」「早く死にたい」などとつぶやくばかりです。私どもは母ももう長くはないのではないかと半分覚悟を決めるような状態でした。

しかし、ここからウェリナケアの実力が発揮されました。母を主として担当してくださっていたケアマネージャーのI様、生活相談員のH様等が中心となって、母に寄り添い、話を辛抱強く聞き、慰め励ます等々心のこもった介護を展開してくださいました。常駐の看護師さんたち、担当のドクターも注意深く母を見守ってくださいました。そのお蔭で母はめきめき元気を取り戻し、3週間後には笑顔も見せるようになりました。

娘を亡くしたのですから、以前と同じというわけには当然いきませんが食欲も回復し、以前の生活に戻りつつあります。

東急ウェリナケア旗の台

検索

http://www.tokyu-welinacare.jp/hatanodai/

お問い合わせ

東急ウェリナケア旗の台





東急ウェリナケア旗の台 総支配人
縦田 健治
Oda Kenji

東急ウェリナケア旗の台、総支配人の縦田でございます。
東急ウェリナケア自由が丘から東急ウェリナケア旗の台へ異動し早いもので2年半が経過いたしました。これもひとえに皆様方のお力添えのお陰と感謝申し上げます。

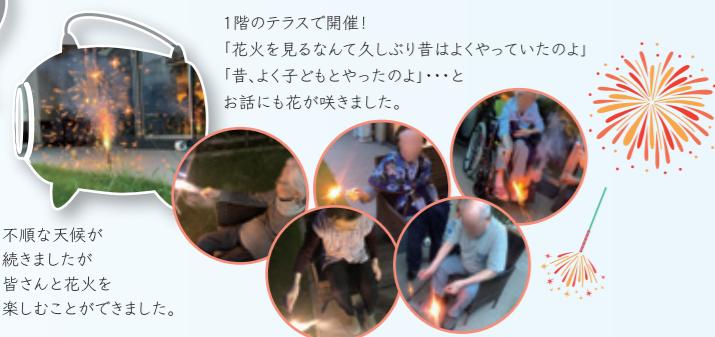
また、3階フロアに続き、2階フロアも空室が残り僅かとなり、ますます施設全体が活気に満ち溢れてまいりました。

当施設は2020年3月開業という事もあり、面会の制限や外出の制限等でご入居されている皆様方、ご家族様には長い間大変ご不便、ご迷惑をお掛けしてしまいました。新型コロナウイルス感染症が5類への移行を期に今まで自粛しておりました外食ツアー(目黒雅叙園、八芳園)をはじめ、いちご狩り、しながわ水族館への外出、近隣散歩、お花見など様々なイベントに注力してまいりました。今後もご入居頂く皆様が、安心して健やかに過ごして頂けるよう、スタッフ一同一丸となって健全な施設運営に努めてまいります。

引き続き東急ウェリナケア旗の台をどうぞよろしくお願い申し上げます。

ますます活気に満ちあふれる館内

花火イベント



不順な天候が続きましたが皆さんと花火を楽しむことができました。

納涼祭



ウクレレの穏やかで優しい音色が響きました。

季節の湯

毎月1週間、その時期に合った「季節の湯」を提供しています。たとえば、1月「松湯」、2月「ゆず湯」、3月「桜湯」など香りや効能で季節を感じながら心身のリラックスを図り、お風呂を楽しんでいただいています。



訪問デパート



ゆっくりと時間をかけて試着され「どっちがいいかしら?」とても楽しそうにお買い物をされていらっしゃいました。

書の会



「書の会」は予約制で月に2回、明るいリビングで開催されます。

クローズアップサービス Close Up

介護体制

東急ウェリナケア旗の台
生活相談員

酒本智佐子
Sakamoto Chisako

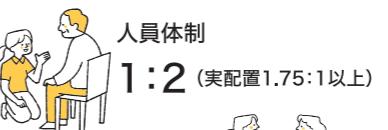


充実した介護体制で、質の高いサポートを提供しています。

約40名のご入居者に
2.5~3名のケアマネを配置。

2020年の開業以来、ケアマネジャーとしてご入居者の暮らしをサポートしてきた酒本さん。もともとは看護師として病院やクリニック、施設で勤務しており、キャリアアップの一環としてケアマネジャーの資格を取得しました。

「東急ウェリナケア旗の台の特長として、スタッフの体制が充実していることが挙げられます。介護・看護スタッフは、ご入居者2人に対して1人以上(実配置1.75:1以上)と、介護保険基準の3:1を上回る人員体制を実現しています。ケアマネジャーについても約40名のご入居者に2.5~3名の人員体制で、きめ細やかなサービスを行っています。」



人員体制

1:2 (実配置1.75:1以上)

ケアマネジャー
2.5名~3名
(入居者40名)

状況に合わせた
ケアプランの見直し。

ケアマネジャーは、介護スタッフ・看護師らとの定期的なカンファレンスにより、定期的にケアプランの見直しを行います。「プランの見直しの際には、スタッフはもちろんのこと、ご家族とも連携します」。機能を維持しながらできることを増やしていくことで、ご入居時よりもお元気になって、介護度が低くなるケースもあるそうです。「ご本人やご家族から感謝の言葉をいただくことも多く、やりがいを感じます」。

今後は訪問リハビリなども取り入れていきたいと語る酒本さん。「看護・介護スタッフとの連携により、スタッフ一丸となってご入居者の生活をサポートしていきたいと思います」。

ご本人、ご家族、スタッフと密なコミュニケーションで的確なケアプランの見直し

Life Episode

ライフエピソード



東急ウェリナケア旗の台の最初のご入居者・鈴木様に
お話を伺いました。

写真左：ご入居者／鈴木八重子様(98歳)
写真右：妹様／鈴木千賀子様(83歳)

2020年のオープンと同時に 第1号の入居者になりました。

2020年の開業と同時にご入居された鈴木八重子様。「徒歩30分ほどの場所で生まれ育ったので、このあたりはなじみのエリアなんです」と笑顔で話す八重子様。8人きょうだいの一番上の八重子様と、末っ子の千賀子様は16歳差ですが、長年にわたって仲良くご実家で同居されていたそうです。

千賀子様は「姉が腰を悪くしたことを見つかり、施設を探し、当初は東急ウェリナケアシリーズの尾山台と自由が丘を検討していました」と振り返ります。そんな時

幼い頃から親しんだ地域で、日々活発に過ごしています。

旗の台が開業することを知り、八重子様は「自宅から近いから安心だし、新しいところの入居者第1号になりたい」と、ご入居を決められました。

ご入居後は、体操やフラワー・アレンジメント、脳トレ、カラオケ大会などのアクティビティに積極的に参加されています。「入居前は、日中居眠りすることも多かったのですが、ここで毎日アクティビティを楽しむうちに元気になりました」。



美味しいお食事を味わい、
お友達や家族と会話を楽しんでいます。

東急ウェリナケア旗の台では、栄養バランスに配慮した味わい深いメニューをご提供しています。八重子様は「朝食、昼食、おやつ、夕食、すべて美味しいので、いつも完食しています



八重子様(左)と千賀子様。背後の屏風は、八重子さまの亡くなられた妹様が、趣味で制作したもの。「寄贈したところ、ロビーに飾っていただき嬉しく思っています」。

「す」と笑顔でおっしゃいます。ご入居者同士の会話も楽しんでいらっしゃるそうで、「いろいろな経験をされた方のお話を聞くのは、とても勉強になります」とのこと。

近くにお住まいの千賀子様は、毎日のように来館されるそうです。「姉の様子を見て、帰りに旗の台のスーパーで買い物するのが日課です。スタッフの方の姉への接し方を見ていると、さすがプロだと感心します。姉もいきいき過ごしているので、こちらにお世話になってよかったです」と実感しています」。

仲の良さはそのままに、安心して快適な生活を送られているご姉妹。いつまでもにこやかに、充実した日々を送っていただきたいと思います。